

# Refresh!!

No. 68

2023年4月30日発行

TAKE FREE

## コンテンツ

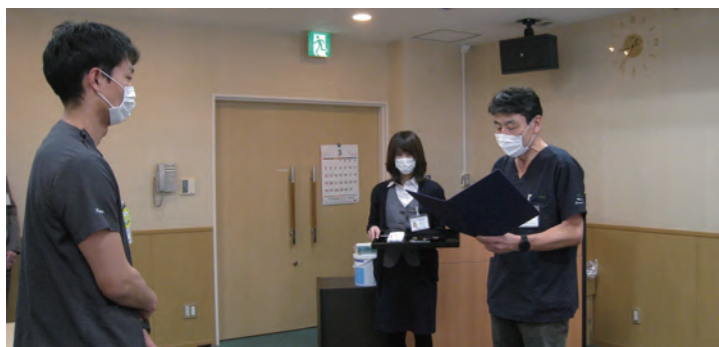
ニュース、コラム、3西病棟のはなし、栄養部のはなし  
新任医師紹介、市民公開講座のお知らせ







秋山医師表彰



中原医師表彰

# Takahagi Fresh News.

## 救急車受け入れ件数が最多 医師の表彰を行いました。

22年4月から23年2月の間に当院で受け入れを行った救急車は、千台以上になります。その中で秋山洸太医師(内科)、中原僚汰医師(整形外科)がそれぞれ1割以上の受け入れを行っていたため、院内で表彰式を行いました。  
これからも県北地域の医療に貢献できるよう職員一同頑張っていくと存じます。

# Takahagi Fresh News.

## 感染管理認定看護師教育 課程を受講して

今般の市中感染症に伴う医療環境の変容に対し、院内の感染対策はもろろん、地域の活動も踏まえて感染対策実驗者が必要と感じ、22年4月から約1年間、栃木県にある獨協医科大学の感染管理認定看護師教育課程を受講してきました。  
看護師特定行為研修も組み込まれた過程であり、医師と看護師の観点



### 栄養部

## 「骨を元気にするために、 普段の食事を見直してみましょう」

カルシウム、ビタミン K や D などに気を配り、主食・主菜・副菜をそろえたバランスよい食事で、標準的な体重を保つよう心がけましょう。

## column

医療にまつわるちょっといい話

### 実施可能特定行為

- ◎ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- ◎ 脱水症状に対する輸液による補正
- ◎ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与

外来 矢吹 貢一

を多角的に感じながら理解を深め、当院をはじめとした複数施設の実習経験により、特定行為と感染対策の対象と方法を学べたことは、大変貴重かつ有意義な時間でした。  
感染対策の実践は、患者さんや職員など、病院を利用する全ての人が対象であり、沢山の方のご理解とご協力があって成り立ちます。今後も新たな感染症や、再び流行する感染症など、感染症と向き合っていくことは避けて通れません。そういった場で、皆様が不安なく感染対策が実践できるよう、活動していく所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 骨に重要なカルシウムの多い食品

牛乳・乳製品・小魚・大豆製品・緑黄色野菜など



### 骨の形成を助けて骨を強くするビタミンKが多い食品

ブロッコリー、ほうれん草、納豆など



### カルシウムの吸収を助けるビタミンDが多い食品

干し椎茸、きくらげ、紅鮭、卵など



### 《過剰摂取を避けた方がよい食品》

- ◆リン：カルシウムの吸収を阻害（リンが多い食品…ウインナー、ハム、練り物、菓子類）
- ◆食塩：カルシウムの尿中排泄量を促進
- ◆アルコール：カルシウム吸収を阻害し、ビタミンDの働きを悪くする
- ◆カフェイン：カルシウム吸収を阻害

## 高萩警察署から感謝状を いただきました。

3月13日に高萩警察署長 大久保昌範警視(写真右)から警察業務を理解し、検視業務の推進に協力したことに對して感謝状を頂いたため、感謝状授与式を行いました。  
当院の警察業務への協力が評価されたことをうれしく思います。今後も警察業務に限らず、さまざまな機関と協力して業務を進めていきます。





# Dept

## 「3 西病棟のはなし」



病棟カンファレンス



3 西病棟は急性期の病棟で看護師26名、ナースングアシスタント(看護補助者)7名で業務を行っています。診療科は、整形外科・総合内科・外科です。整形外科は、主に大腿骨骨折・変形性膝関節症・変形性股関節症・椎体骨折・腰部脊柱管狭窄症等の他に上肢、首の疾患に対しての手術療法・治療・リハビリを行っています。総合内科は、肺炎・心不全・糖尿病等の他に胃カメラ・大腸カメラを中心とした胃・腸の疾患の治療を行っています。外科は、消化器外

科を中心とした急性期・手術療法・緩和治療・がん化学療法を行っています。高齢化に伴い、認知症の患者さんも増加しています。日常生活への復帰を目指し看護をしています。が、必ずしも全員が元の生活に戻れるというわけではありません。退院後に継続した処置が必要であったり、日常生活を送るのに他者の支援が必要となるケースも多いです。そのため、入院時より診療科ごとのカンファレンスを行い、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・入院支援等の多職種と連携し、退院後を見据

えた看護を行っています。急性期病棟として緊急入院に即座に対応するために、リリース体制を整え、他部署スタッフの協力を得て日々業務にあたっています。治療に伴う苦痛や不安を少しでも軽減できるように患者さんの気持ちに寄り添い、丁寧な接遇に努め、スタッフ一丸となり安心・安全な看護の提供に心がけています。不安なことがございましたら気軽にご相談ください。



3 西病棟スタッフ (看護師・ナースングアシスタント)



「栄養部のはなし」

Dept



盛り付け



調理



下処理



食器洗浄

当院の栄養部は、管理栄養士、調理師、調理補助から構成され、1日約300食の食事を提供しております。当院で提供している食事は、患者さんの病態に合わせて、常食、産褥食、全粥食、5分粥食、流動食、嚥下困難食、糖尿病食、心臓・高血圧食、嚥下困難食、腎臓食、膵臓・脂質制限食、胃潰瘍食、胃術後食、消化管術後食、なごみ食など様々です。これらの食種のほ

か、人間ドックを受けた患者さんの食事や当院で働くスタッフの昼食も厨房を別に構え、栄養部で提供しております。そんな様々ある食種の中から、嚥下困難食についてご紹介します。当院では、患者さんの嚥下機能に合わせて嚥下食Ⅰから嚥下食Ⅳまで4段階の食事を用意しております。患者さんの手元に食事が届くまでに

は、献立作成や食材の発注、検品・検収、下処理、調理、盛り付け、配膳前の確認作業などいくつもの業務が存在します。どの業務においても、その先にいる患者さんの姿を思い浮かべながら、今後も安心・安全な食事を提供できるように努めて参ります。そんな栄養部では現在、スタッフを募集しております。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

嚥下困難食



嚥下食Ⅰ

均質で、付着性、凝集性、離水に配慮したゼリー状の食形態です。



嚥下食Ⅱ

一度調理した料理をミキサーにかけ、とろみ剤でペースト状にした食形態です。均質でべたつかず、まとまりやすいように配慮しています。



嚥下食Ⅲ

一度調理した料理をミキサーにかけ、とろみ剤でムース状に固めた食形態です。形はありますが、舌で容易につぶすことができます。



嚥下食Ⅳ

一度調理した料理を細かく刻んで、とろみ剤でとろみをつけた当院独自の食形態です。とろみをつけることで飲み込むときにばらけにくく、貼りつきがないように配慮しています。



栄養部スタッフ（管理栄養士・調理師・調理師補助）



## NEW COMER

## — 新任医師紹介



整形外科医師  
佐藤 康介

出身大学：  
筑波大学

出身医局：  
筑波大学

趣味：  
サッカー

最近ハマっていること：  
昨年からはじめたゴルフ



整形外科医師  
鈴木 秀典

出身大学：  
筑波大学

出身医局：  
筑波大学

趣味：  
バスケット、革靴

最近ハマっていること：  
なし



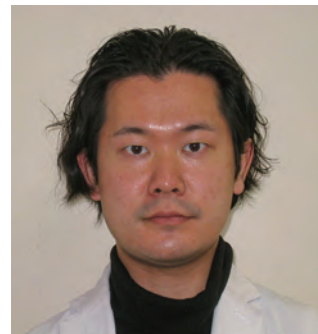
整形外科医師  
安藤 美帆

出身大学：  
岩手医科大学

出身医局：  
筑波大学整形外科

趣味：  
おいしいものを食べる

最近ハマっていること：  
昨年からはじめたゴルフ



総合診療科医師  
畑 拓磨

出身大学：  
筑波大学

出身医局：  
なし

趣味：  
歌手をやっています

最近ハマっていること：  
コーヒーの機材を揃えよう  
と考えています

4月からお世話になります。  
どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療に貢献できるように  
頑張ります。ご指導のほどよ  
ろしくお願いいたします。

半年と短い間となりますが、  
精一杯がんばります。  
よろしくお願いいたします。

4高萩の地域医療に貢献でき  
るよう尽力致します。

## 第23回市民公開講座

市民の健康を守る県北医療センターの取り組み

まがる腰、その腰痛どうしますか。  
～いつまでも歩いて生活するために～

整形外科科長 佐藤 康介

ますます増えている  
大腸がんについて

外科部長 大島 祐二

下記日程にて当院主催の市民公開講座を開催いたします。テーマは「まがる腰、その腰痛どうしますか。～いつまでも歩いて生活するために～」と「ますます増えている大腸がんについて」で、**参加無料**となっています。皆様のご来場をお待ちしております。

参加  
無料

日時：2023年6月17日（土）  
午後2時～4時（受付 午後1時30分より）

場所：高萩市総合福祉センター 多目的ホール

主催：県北医療センター 高萩協同病院  
後援：高萩市・多賀医師会

お問い合わせ：  
県北医療センター高萩協同病院 市民公開講座担当 庶務課  
TEL：0293-23-1122 FAX：0293-24-1063  
E-mail takakyou@atias.plala.or.jp

新人研修の様子で  
す。いざというとき  
の医療機器の使い  
方を、真剣に学ん  
でいました。



発行所：県北医療センター高萩協同病院  
発行人：近藤 匡  
編集：広報ふれあい委員会  
編集協力：JA 茨城県厚生連総務部

〒318-0004 高萩市大字上手綱字上ヶ穂町 1006 番-9  
Tel：0293-23-1122 takahagi-kyodo-hp.jp/